

三重県鉱工業生産及び生産者製品在庫の動き

I 概況

1. 生産の動き

平成元年の県内鉱工業生産指数の年平均は、111.5（昭和60年=100）で（年指数については、原指数による。以下同じ。）、対前年比6.1%と6年連続の増加となった。四半期ごとの推移についてみると（四半期別指数については、季節調整済指数による。以下同じ。）、1～3月期108.8（対前期比2.8%増）、4～6月期111.8（同2.7%増）、7～9月期114.4（同2.3%増）と3期連続して増加したが、10～12月期111.1（2.8%減）と減少した。（表1、図1）

これを業種別に対前年比でみると、プラスチック製品工業15.5%、一般機械工業14.5%、輸送機械工業12.5%、化学工業10.2%、金属製品工業8.9%、パルプ・紙・紙加工品工業8.2%、非鉄金属工業7.8%、非金属鉱業5.4%、窯業・土石製品工業3.4%、鉄鋼業1.8%、石油・石炭製品工業1.4%とそれぞれ増加した。一方、電気機械工業△7.0%、食料品工業△1.5%、繊維工業△0.9%とそれぞれ減少した。（表3）

また、財別に対前年比でみると、資本財13.6%、建設財5.3%、耐久消費財5.2%、非耐久消費財3.5%、鉱工業用生産財4.6%、その他用生産財6.0%とそれぞれ増加した。（表5）

2. 生産者製品在庫の動き

平成元年の県内鉱工業生産者製品在庫指数（以下「在庫指数」という。）の年平均は、103.2（昭和60年=100）で、対前年比11.7%と3年ぶりに増加となった。四半期ごとの推移についてみると、1～3月期97.3%（対前期比2.7%増）、4～6月期99.9（同2.7%増）、7～9月期103.3（同3.4%増）、10～12月期112.2（同8.6%増）と63年7～9期より6期連続して増加した。（表2、図1）

これを業種別に対前年比でみると、パルプ・紙・紙加工品工業147.3%、輸送機械工業77.6%、電気機械工業18.0%、化学工業16.8%、一般機械工業15.1%、金属機械工業12.6%、鉄鋼業6.7%、繊維工業6.1%、窯業・土石製品工業0.4%、石油・石炭製品工業0.4%とそれぞれ増加した。一方、非金属鉱業△16.0%、非鉄金属工業△8.3%、食料品工業△5.8%、プラスチック製品工業△4.1%とそれぞれ減少した。（表4）

また、財別に対前年比でみると、資本財27.4%、耐久消費財36.5%、鉱工業用生産財13.2%、その他用生産財16.1%とそれぞれ増加し、建設財△0.3%、非耐久消費財△8.6%とそれぞれ減少した。（表6）

（参考）全国の概要

平成元年の鉱工業生産は前年比6.1%、出荷も同6.1%と、前年に比べ伸び率は鈍化したものの堅調な伸びを示した。鉱工業生産は、61年10～12月期を底として回復に転じた後、62年から63年にかけて力強い拡大を続け、平成元年1～3月期には前期比3%を超える高い伸びを示したが、4～6月期以降は緩やかな上昇となった。年ベースでみると、63年後半の伸びが高かったことと1～3月期の伸びが高かったため、高い伸びとなった。

また、元年の製品在庫は、前年比7.9%と、50年以降では最も高い伸びとなったが、製品在庫率の伸び率は前年比1.6%と緩やかなものであり、低水準で推移した。生産と在庫の関係を見ると、4～6月期以降生産の伸び率を在庫の伸び率が上回り、一見在庫積み上がり局面に入ったかのように見えるが、鉱工業全体でみた在庫率水準は、年間を通して低いレベルで推移しており、需要の増加に見合った緩やかな在庫積み増し局面にあると考えられる。

（通商産業大臣官房調査統計部編「平成元年 年間回顧 鉱工業生産活動分析」から抜粋）

表1 鉱工業生産指数の推移

昭和60年=100

表2 鉱工業生産者製品在庫指数の推移

昭和60年=100

	全 国		三 重 県	
	指 数	前年(期)比	指 数	前年(期)比
60年平均	100.0	103.7	100.0	105.6
61年 "	99.8	99.8	100.1	100.1
62年 "	103.2	103.4	101.5	101.3
63年 "	113.0	109.5	105.1	103.5
元年 "	119.9	106.1	111.5	106.1
元年Ⅰ期	119.4	103.1	108.8	102.8
Ⅱ期	119.8	100.3	111.8	102.7
Ⅲ期	119.7	99.9	114.4	102.3
Ⅳ期	120.6	100.8	111.1	97.2

	全 国		三 重 県	
	指 数	前年(期)比	指 数	前年(期)比
60年平均	100.0	106.6	100.0	108.2
61年 "	101.1	101.1	103.9	103.9
62年 "	97.4	96.3	97.0	93.3
63年 "	99.0	101.6	92.4	95.3
元年 "	106.8	107.9	103.2	111.7
元年Ⅰ期	103.4	101.9	97.3	102.7
Ⅱ期	105.6	102.1	99.9	102.7
Ⅲ期	108.1	102.4	103.3	103.4
Ⅳ期	109.9	101.7	112.2	108.6

(年平均は原指数。四半期別指数は季節調整済指数)

(年平均は原指数。四半期別指数は季節調整済指数)

図1. 鉱工業指数の推移 (昭和60年=100、季節調整済)

